

平成30年度第2回香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：平成30年11月15日（木） 13時30分～16時20分
2. 場 所：香川県庁 本館12階 第1・第2会議室
3. 出席者：委員（敬称略）
 - 委員長 井原 健雄（香川大学名誉教授）
 - 副委員長 白木 渡（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構副機構長）
 - 委員 池田 弘子（(株)人間科学研究所所長）
 - 佐藤 好美（佐藤好美建築工房主宰）
 - 大谷 誠一（(一社)香川経済同友会専務理事）
 - 角道 弘文（香川大学創造工学部教授） 【欠席】
 - 末永 慶寛（香川大学創造工学部教授）

（委員7名のうち6名出席）

4. 議 事

(1) 事後評価対象計画

下記の社会資本総合整備計画等6計画について、県や市町の事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

- ① 公共資本の防災機能の向上、老朽化対策による安心で
快適な暮らしづくり（防災・安全） [香川県他]
- ② 幹線道路の整備による地域間の交流・連携の強化 [香川県]
- ③ 主要幹線から主要病院へのアクセス強化（防災・安全） [坂出市]
- ④ 丸亀市中心市街地地区都市再生整備計画 [丸亀市]
- ⑤ 高松市の漁港における高潮対策の推進 [高松市]
- ⑥ 直島町の漁業地域における高潮対策の推進 [直島町]

(2) 審議内容

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号②・④・⑤・⑥について「十分な効果があった」、計画番号①・③について「一定の効果があった」と事業主体が評価したこと、また、計画番号①・③について事業を「継続する」という今後の方針に対し、「概ね妥当である」との意見を付す。

委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・計画の成果目標である「定量的指標」については、県民に分かりやすい表現にするよう配慮していただきたい。（①、③）

(3) その他

1) 今後の予定

次回の委員会では、第1回委員会にて選定した再評価3事業について、現地調査及び詳細審議を実施する。

— 以上 —